

富田林市立図書館から

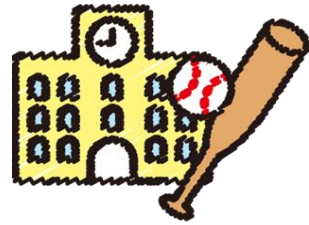
小学校5・6年生のみなさんへ

夏のおてがみ



『雨女とホームラン』

吉野 万理子／作
 嶽 まいこ／絵
 静山社



竜広たつひろと里桜りお うらなは占いが大好きな小学6年生。毎朝テレビ番組の占いコーナーをチェックしている。ある日、野球チームの試合が雨のため中止になり、竜広は雨の原因を転校生の由樹ゆきが雨女だからだと言ってしまう。それを信じた里桜に対し、担任の小山先生は、占いやジンクスを信じすぎてはいけないと、過去の体験を話し始めた。

『こうまのマハバット』

市川 里美／作
 BL出版



ジャミーラはキルギスにすむ女の子です。夏休みをおじいちゃんとおばあちゃんのくらす山の村ですごすことになりました。村にはけがをした真っ黒なこうまがいました。かわいいこうまのことが大好きになったジャミーラは、このこうまにキルギスの言葉で「愛」を意味する「マハバット」という名前を付けて、夏休みの間、いっしょうけんめいお世話をします。

いよいよ、夏休みが始まりますね。ぜひ、本の世界にどっぷりつかってみてください。

『バンダビーカー家は五人きょうだい 庭づくりはひみつ!』

カーリーナ・ヤン・グレーザー／作・絵
 田中 薫子／訳
 徳間書店



ニューヨークのハーレム地区に住むきょうだいのお話です。ある日、上の階に住むジートさんが入院してしまいます。ジートさん夫婦を元気づけるため、近所の荒れ地を「みんなの庭」にしようと奮闘しますが、次々とトラブルに見舞われてしまいます。シリーズの2作目ですので、先に「引っ越しなんてしたくない!」を読むと一層楽しめます。

『マンホール大百科 西日本編』

鈴木出版マンホール研究会／編
 鈴木出版



西日本にある各地域の特色を表した「ご当地マンホール」が紹介されています。ご当地マンホールはもともと、下水道のイメージアップのために作られたそうです。もちろん大阪のマンホールも紹介されています。68ページには富田林市のご当地マンホールも掲載されています! 実際に探しに行ってみてください。

『かえるのごほうび』

絵巻「鳥獣人物戯画」より
 木島 始／さく
 梶山 俊夫／レイアウト
 福音館書店



きょうはもりのおまつりだ。えんやらほうい、のこったのこった。ページをめくれば、うさぎとかえるが相撲取りの真っ最中。この絵本は、京都の高山寺に伝わる「日本最古の漫画」といわれている絵巻を組立てなおして、お話にしたものです。ユーモアたっぷりに描かれた動物たちと一緒に、おまつり見学しませんか。

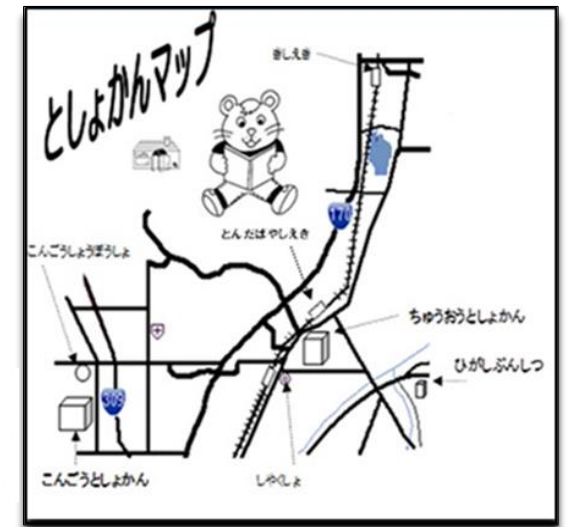
『世界の生きものMAP』

きた なおこ／訳
 エクスナレッジ



生きものは、すんでいる地域の環境によって、体の大きさやとくちょう、くらしかたが違います。地球上には、森林やさばく、水辺、草原、暑いところや寒いところなど様々な場所があります。

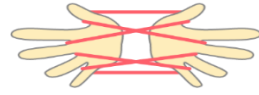
この本で600種をこえる生きものの世界を旅してみましよう。日本ではあまり知られていない生きものも、たくさん紹介されています。



引き続き、次のページも読んでくださいね!

『世界の伝承あやとり オセアニアのあやとり 2 あやとりの宝庫で見つけた傑作選 太平洋の小さな島々編』

野口 とも／著
成文堂新光社



オセアニアの小さな島々にもあやとりが^{でんしょう}伝承されていました。オセアニアの人々は、自然や生き物、身の回りの出来事をあやとりに記録して子孫に伝えていました。物語仕立てになっているものや神話や伝説に^{もと}基づいているものが、ひとつひとつ丁寧^{ていねい}に紹介されています。シリーズは、全部で5巻^{かん}あります。

『アートって何だろう～はじめてアートに出会う本～』

中島 裕司／訳
保育社



有名な絵画や写真、アートのたのしみ方を、いろんな^{かく}角度から紹介しているのがこの本。線のひき方、色のぬり^ど方、表現の方法も様々。アートは美しいだけでなく、^{えが}描かれた時代の様子や、作者のメッセージも表現されている。アート作品を^{かんしょう}鑑賞したり、自分でも作ってみたくなるかも。

『ねんどのケーキ屋さん』

岡田 ひとみ／著
汐文社



かわいい、ちいさなケーキを作しましょう。材料は、軽量^{かんしょう}ねんどと絵の具です。黄色をまぜるとスポンジに、赤色をまぜるとイチゴに変身します。白いねんどのクリームを重ねると、ショートケーキの完成です。手のひらで、自分だけのいろいろなケーキが作れます。たくさんできると机の上には、かわいいケーキ屋さんが開店します。

『くさい！ だれでもなんでも、においパワーがばくはつだ！』

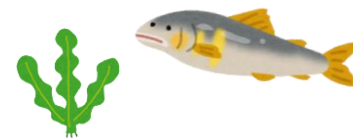
クライヴ・ギフォード／作
ピート・ガムレン／絵
桑原 洋子／訳
河出書房新社



私たちが暮らす世界には、いろいろなニオイがありますよね。この本は、そんなニオイの中でも、くさ～いニオイの話を集めた本です。おならのにおいを吸いこんでくれるパンツの話、世界でいちばんくさいくつ下の話、もしもタイムマシンに乗って大むかしの町にいったら、くさい町めぐりができる話など。最後まで楽しめる一冊です。

『南極のさかな大図鑑』

岩見 哲夫／文
廣野 研一／絵
福音館書店



世界で一番冷たい海、そこはマイナス2度にもなる^{なんきょくかい}南極海。そんな冷たい海に近ごろ多くの魚がいることがわかってきました。生きていきにくい環境の中、0度でも凍^{こお}らない血液と体液をもつからだ、無色透明^{どうめい}の血液、浮きぶくろをもたないなど、魚たちは生きていくために独自の進化をとげてきたのです。

『SDGsのきほん 未来のための17の目標 飢餓 目標2』

稲葉 茂勝／著
渡邊 優／監修
ポプラ社



SDGsとは世界を良くするために^{こくれん}国連の加盟国が一致^{いっち}して決めた17個の目標(ゴール)のことです。目標2が「^{きが}飢餓をゼロに」。飢餓とは食べ物が不足して食べられないこと。世界には飢餓が原因で死亡する人がいます。その一方で、食べ過ぎて^{ひまん}肥満になる人や、余った食べ物を捨てる人もいます。みなさんも世界の未来のためにできることはないか、考えてみませんか。

